

# 自然発火にご注意ください！！

近年、自然塗料を塗装した時に使ったウエスや布が自然発火し、火災になる事故が起こっています。自然塗料による自然発火についてご理解頂き、注意いただきたい事をご紹介します。

## 自然塗料の自然発火とは？

塗料に含まれる油は空気中の酸素と反応する事で酸化し酸化熱を発生します。  
 (油は酸化する事で硬化し乾燥に至ります。)  
 その熱は放熱されなければ蓄熱されて発火につながります。



- 自然発火は植物油を使用する全ての塗料に可能性があります。
- 塗料(油)自身は常温では発火する事はありません。
- 塗装した木材は発熱よりも放熱の方が早く、蓄熱される事が無い為、発火する事はありません。

## どんな時に自然発火が起きるのか？

- ・塗装やふき取りに使用したウエス・布をそのまま山積みしたり、樹脂容器やビニール袋に入れたまま放置した場合。
- ・養生に使用したオイルのしみ込んだ養生紙や段ボールなどを丸めたり、山積みにして放置した場合。
- ・オイルがついたおがくずやごみなどを山積みにして放置した場合。



## 自然発火の予防方法

塗装やふき取りに使用したウエス・布、養生等に使用した紙類は使用後即座に金属製水バケツに浸してください。作業終了時は水を十分に含んだままビニール袋に入れ、密封した状態で可燃ごみとして処理して下さい。

